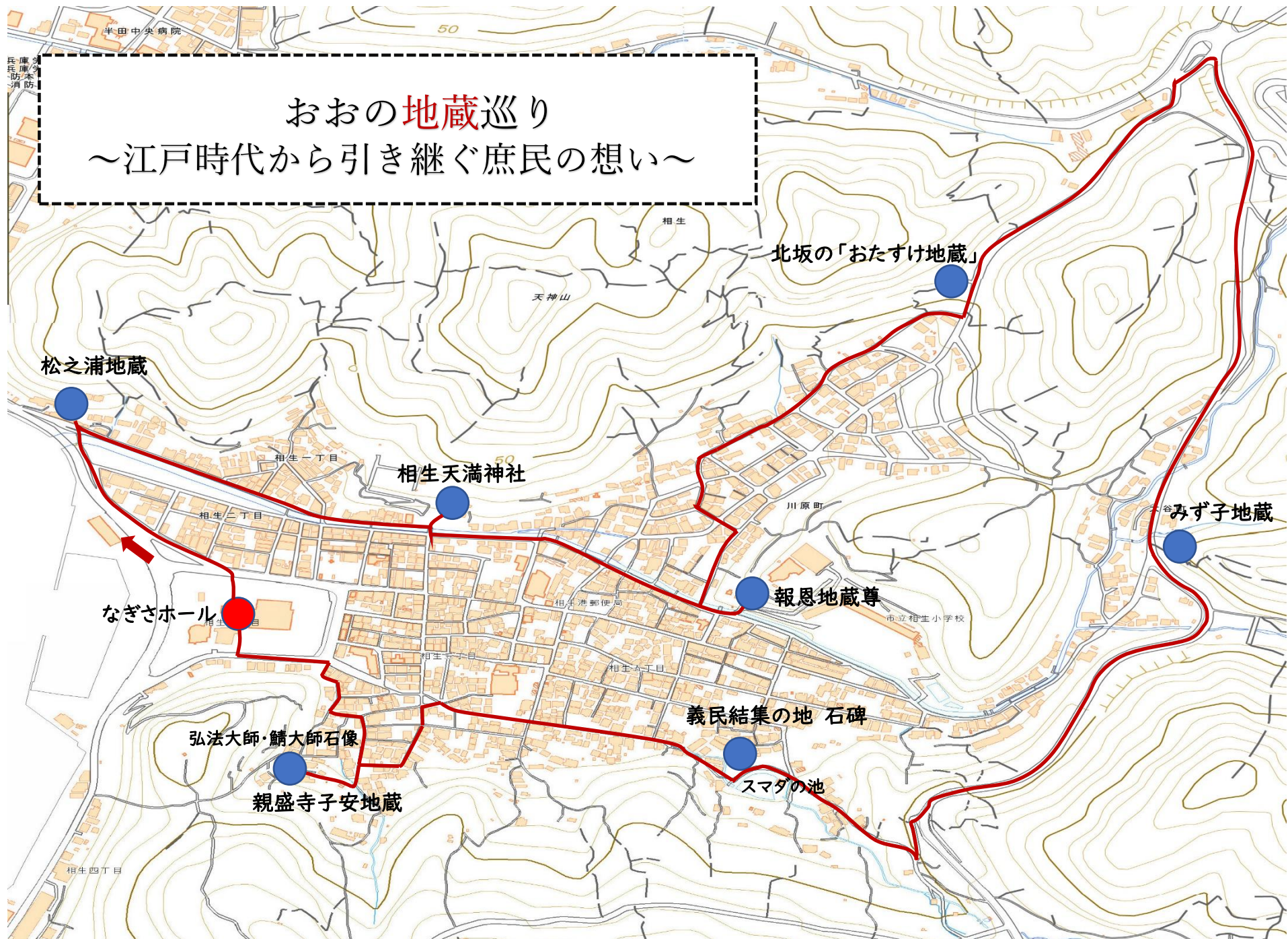


おおの**地藏**巡り  
～江戸時代から引き継ぐ庶民の想い～



松之浦地蔵

北坂の「おたすけ地蔵」

相生天満神社

みず子地蔵

なぎさホール

報恩地蔵尊

弘法大師・鯖大師石像

義民結集の地 石碑

親盛寺子安地蔵

スマダの池





松之浦地蔵 ▶ 相生天満神社 ▶ 報恩地蔵尊 ▶ 北坂地蔵 ▶ みず子地蔵 ▶ 義民結集の地 ▶ 親盛寺子安地蔵

### 北坂の「おたすけ地蔵」

1787(天明7)年の飢饉による騒動で、頭取とされ北坂峠で獄門にかけられた九助の菩提を弔うため、村人たちは地蔵尊を建立した。「九助地蔵」とも呼ばれている。お堂の背後には山桜の大木があり、毎年春になると色を添えている。

### みず子地蔵

1985年に建てられた石碑によると史跡保存有志が洗心会を創立し、市内の地蔵の整備を行っていた。1971年に生命の大切さを世に訴え、みず子地蔵を仇野念仏寺(あだしのねんぶつじ)の分身第1号として大谷に奉安、現在に至っている。

### 義民結集の地(おおの強訴)

1782(天明2年)年世に言う「天明の大飢饉」が全国を襲った。次々に起こる天変地異、各地に一揆が続発した。同7年に至り、赤穂藩も村々に穀留を命じた。もともと漁業で生計を立てていたおお村はたちどころに困窮した。強訴を訴えた人々はスマダの池のほとりに集まり米屋6軒を打ち壊した。頭取とされた九助が北坂峠で獄門となった。

### 親盛寺子安地蔵

三代海老名盛重の時、1190(建久1)年3月、先祖累代の帰依仏観世音菩薩像の夢のお告げによって金龍山に像を安置し、親盛寺と称した。現在のお堂は1927年に建立された。毎年2月に大護摩炊きが、5月には花祭りが行われており信者が参拝する。境内に地蔵尊が祀られている。全国八万四千体の一つで4512番の子安地蔵である。

### 松之浦地蔵

1839(天保9)年の建立。地蔵は立像。子宝に恵まれなかった、おおの資産家唐土屋の稲岡宗太郎が、夢枕にたたれた観音菩薩のお導きにより地蔵堂を建立して、お参りをしたところ年を経ずして子に恵まれたので「子育て地蔵」とも呼ばれている。所在地に因んで「松之浦地蔵」と呼ばれる。地蔵前の海岸に、地蔵岩と呼ばれていた大岩があった。

### 相生天満神社

金毘羅神社は天満神社の社殿の西側にある。この社の前の玉垣には稲岡宗太郎をはじめ、当時の有力者の名前が並んでいる。

### 報恩地蔵尊

報恩地蔵尊(全国八万四千体の5613番)は相生小学校開校50年を記念して、学校の東側に建立されたものだが、1951年の土砂崩れで土中に埋り、1969年に発見された。翌年、現在の位置に再興され子供たちの通学を見守っている。

### 松之浦の地蔵さんの申し子

稲岡宗太郎夫婦の次男の浅五郎は縁あって大阪の堺で酒造を営む福地家の養子になりましたが、後に明治4年に起きた我が国最後の仇討ちとして知られる「高野(こうや)の仇討ち」で、村上兄弟達を助け本懐を遂げさせたという影の立役者となります。(ふるさと相生つれづれ草より)

### 峠の茶屋(子狐の恩返し)

明治末期までおおの若い連中が伊勢参りの行き帰りにはこの坂を越えていました。九助の地蔵尊の前にはいつの頃から一軒の茶屋が出来、峠を登り下りする人たちが賑わいました。この茶屋は老夫婦で営んでおりました。婆様が法事で出かけたある日、爺様が柴をかまどにくべようと持ち上げたたんぎっくり腰になってしまいました。しばらくして「餅のあんばいがようて、お茶もええ茶やなあ」という客の音が聞こえてきたので、這い出していくと可愛い小娘がお給仕をしていました。頭をぺこりと下げてにっこりと笑うので、爺様は幼くして亡くした娘の面影を重ね言葉にならず、婆様が頼んでくれたのだろうと横になりました。婆様が帰って来てその事を話すと「なんのこっちゃいな」と返事。しかし、もう娘の姿はなく、爺様は寒い日に狐の親子を助けた事を思い出し、子狐が恩返しに来てくれたのだと感謝しました。(ふるさと相生つれづれ草より)

### 城山(じよやま)の鯖大師

昔、弘法大師が教えを広める行脚中に、鯖を積んだ馬子に会いました。鯖を所望すると口汚く罵りを受けました。暫くすると馬が動けなくなり馬子は驚き大師に暴言を吐いたことを詫言、助けを乞いました。大師はもっていた水を飲ませると馬は元気になりました。喜んだ馬子はお礼に鯖を大師に差し出しました。大師はこの鯖を海に投げ入れ、暫く呪文を唱えると鯖は生き返り泳ぎ去りました。馬子は情けを知らなかった事を悔い菩提心を起こして大師を敬い、そして長く仏に仕えたといひます。(ふるさと相生つれづれ草より)